

会 議 録（要点筆記）

会 議 名	第 2 回 米原市幼稚園の在り方検討委員会
開 催 日 時	令和 3 年10月13日（水）19時00分～20時21分
開 催 場 所	WE B会議 ※一部委員は市役所山東支所 2 A B 会議室設置のWE B 会議用パソコンで参加
出席者および欠席者	出席委員：8 人 西川正晃委員（会長）、馬淵孝子委員（副会長）、 阿原光宏委員、竹中礼子委員、金澤博文委員、北川真依子委員、 高橋容子委員、千葉泰治委員 事務局： 立木くらし支援部長、口分田こども未来局長 保育幼稚園課 小寺課長、山田課長補佐、今村課長補佐、笥
議 題	1 前回の振り返り 2 現状整理するための調査方法について
結 論	・検討委員の現地視察実施を決定 ・市民アンケート調査実施に向けて調査対象者、アンケート調査の文言等について検討委員会で検討を行った。
審 議 経 過 事務局	1 開会 （事務局から開会あいさつ） 2 あいさつ （会長から開会あいさつ） 3 協議事項 ・前回の検討委員会の内容と市内の就学前の児童の保護者のニーズ、 山東地域の実情等現状を整理するための調査方法について事務局 側の案（市民アンケート調査等）を説明 （資料 1、2、3、4 について） ・山東幼稚園の現状と課題に対する市の捉え方として、園児数が減 少している状況や年間維持管理費が 5 千 8 百万円を要している状 況、施設の老朽化による改修のために多額の費用を要している状 況、今後少子化の進展により山東地域の 3 つの民間園と園児確保 のために競合が懸念される状況から、現状のまま存続させていく

会長	のは困難と捉えていることを説明 ・また、この検討委員会で今後の方針が決まったとしても直ちに山東幼稚園の運営形態が変わることではない旨を説明 今の説明について、御意見等ありますか。
委員	米原市の幼稚園の今後の方向性について、事務局側の考えが少し具体的に伺えたかと感じます。 多額の改修費用も令和元年度の見積ですので、値上がりしている可能性もあります。また、私の園は80人の児童に職員26人の規模になりますが、維持管理費は約9千5百万円程度となります。それに対して、山東幼稚園は職員の数は不明ですが、児童39人に対してこの維持管理費は市の財政的に厳しいのではないかと感じます。 民間園の代表として意見を述べさせてもらうと、今後幼稚園の運営が難しいのであれば、民間の認定こども園がお子さんの受け皿となることも可能だと考えています。 また大原保育園さんは保育園ですが、山東幼稚園の今後の動向により、大原保育園さんが地域の中でどうすればいいのかということを考えられるのではないかと思います。 前回、山東幼稚園を認定こども園にすればという意見もありましたが、山東幼稚園が認定こども園となった場合、民間園としては経営的影響を危惧します。また、先程事務局の説明であったように少子化が進む中で園児確保のために園同士が競合することも懸念しています。 民間園は幼稚園に在園しているお子さんも引き受ける受け皿がありますので、民間園の活用について前向きに御検討いただければありがたいと思います。
会長	公立として維持が困難であるというのは財政的にも明白であり、数字的にも示されているという意見です。 また民間園の代表として、競合していくことも考えると最善の方法を考えていかなければならないという御意見をいただいたと思います。
委員	私が委員として参加させていただいたのは、前回もお話したようにオルタナティブ教育を取り入れ、米原の中に幼稚園の新しい在り

	方を提案し、それがシティセールスになり、移住・定住にも繋がるような、市外の子どもたちにも発信できるようになればということで参加させていただいています。 今の幼稚園としての存続が難しいという話の中で、この意見は前向きに検討いただけるか分かりませんが、先日ヤフーニュースで、広島県福山市で来年の春開校される小学校が、オランダの「イエナプラン」というオルタナティブ教育を取り入れて、入学の募集をしたところ、半分以上が市外で、東京や埼玉からも入学したいという希望者があったというニュースを見ました。 山東地域でも少子化が進んでいるのであれば、十分立地的には魅力的な場所なので、市外への PR も含めてオルタナティブ教育を取り入れシティセールスできる可能性はあると私は考えています。 特色を持った幼稚園にするのか、あるいは幼稚園を廃止にする場合、例えば土曜学校とか、日曜学校という形で、何らかのオルタナティブ教育を子どもたちが体験できる場所として提供することも魅力的だと私は考えています。
会長	例えば幼稚園が困難だったとしても、今伺ったように、土曜学校や常設の子育て支援センター的なものでも私は実現できると思います。 建設的な意見をいただきました。
委員	山東地域の民間 3 園のそれぞれの定員をお伺いしたいのですが。
事務局	各園の利用定員は長岡学園が短時部 15 人、長時部 100 人の合計 115 人、大原保育園が 130 人、柏原こども園が短時部 15 人、長時部 65 人の合計 80 人となります。
委員	短時部は定員に対して、何人在籍していますか。
事務局	令和 3 年 4 月 1 日現在で長岡学園は利用定員 15 人に対して 16 人、柏原こども園が利用定員 15 人に対して 12 人です。
委員	定員を伺ったのは、山東幼稚園を希望している子どもも先程受け入れられると伺ったので、子どもたちの安全面や衛生面を考慮するのに定員を確認する必要があると思い質問させていただきました。

	今伺った各園の定員と受入れ人数を比較すると余裕がないように見えます。受入れする子どもの数が定員よりも多くなると子どもたちや職員に対して様々な場面で負担が出てきます。それに対してどう思われているのかと思います。 幼稚園の存続以前に、まずは子ども第一に検討するものだと思います。
会長	利用定員の弾力的な運営というところは認められると思うんですが、子どもファーストで考えた時にどうかということが一番心配しているということですね。
委員	認定こども園移行時に利用定員を設定するに当たり、1号認定の一番少ない利用定員が15人でしたので、利用定員は15人としましたが、面積等条件的には利用定員を拡大することは私の園の場合は可能です。
会長	面積、職員数、子ども自体の生活など質的な部分、数字では見えない部分を心配されているように感じましたので、今後十分考える必要があると思います。
委員	山東幼稚園の保護者の中では、この検討委員会では施設中心に議論されていて、一番に考えるべき子どもが十分に考慮されていないという意見があります。 そのため、一度委員の皆さんに幼稚園に視察に来て欲しいという意見があります。 私もこの委員会の様子を家族に話していますが、施設の話や子どもがこれから少なくなるという話为中心で、子どものことが話されていない今の状態はよくないという話になりました。 一度山東幼稚園に行ってもらって、子どもたちがどのように過ごしているのか見ていただきたいと思います。
会長	視察を行ってはどうかという意見です。今後の検討をするうえで子ども中心にというその視点は忘れてはいけないし、在園の子どもたちの不利益になっては絶対にいけないと思います。 そのうえで今後の検討に当たり、現状を見ないで検討するということはいかがなものかという御意見だったと思います。

事務局	事務局どうしますか。
会長	視察に向けて日程を調整させていただきたいと思います。 子どものことを考えるのに実状をしっかりと見てほしいという強い願いだと思います。 アンケートの内容などいかがでしょうか。アンケートの対象者は山東地域の保護者であるというところと、民間園へのヒアリング調査について御意見はいかがでしょうか。 私の意見ですが、アンケートの対象者が一番身近な山東地域の就学前の就園児がいる家庭や、未就園児がいる家庭が対象になっているんですが、この検討委員会は「米原市幼稚園の在り方検討委員会」であり、市として就学前の教育として何が大事かということも含めて考えないといけないと思うので対象を山東地域に限っていいのかと思います。 「米原市全体で幼稚園をどう考えるのか」という意見を聞かなくてもいいのかと思います。 ヒアリング調査についてはよく分かります。山東地域にある大原保育園、長岡学園、柏原こども園に聞くのは大事だと思います。
委員	事務局のアンケート案について私の意見は、タイトルは「山東幼稚園の今後の在り方について」となっていますが、「市の幼稚園の在り方」の検討なので、「米原市の幼稚園の今後の在り方について」とした上で、内容はこれでいいかと思います。 ただ、会長と同様に山東地域の方だけに絞ってしまうとアンケートの結果がとる前から結果が見えてくる気もするので、市内全域の未就園児に対象を拡大してもいいかと思います。
会長	2点御意見をいただきました。まず1つめがタイトルについて「山東幼稚園の今後の在り方」というよりも、この会の名前である「米原市の幼稚園の今後の在り方について」の方がよいのではないかと。 2つめの御意見として調査対象者を市内全域の未就園児を対象とすることについて御意見をいただきました。幅広く意見を聞くことができますが、数は多くなります。
委員	私も事務局のアンケート案について、山東幼稚園の今後の在り方

	というよりは、未就園児の子育てをされている保護者が何を希望しておられるのか幅広く聴取する必要があると思います。 全員が難しいのであれば、無作為に抽出してもいいかと思います。
会長	対象者を拡大することは可能でしょうか。
事務局	対象者を市内全域の未就園児に拡大することは可能です。なお、就園児についても、市内全域に対象者を拡大することも可能です。 また、アンケートのタイトルは「山東幼稚園の今後の在り方」ではなく「米原市の幼稚園の今後の在り方」に変更させていただきます。
会長	事務局から未就園児に加えて、市内全域の就園児の家庭を対象にアンケートを取ることも可能ということ、また、アンケートのタイトルを米原市の幼稚園の今後の在り方に変更すると提案がありましたが、いかがでしょうか。
委員	アンケート表紙文言で、「建築後 18 年を経過しており」というのは必要でしょうか。
会長	「建築後 18 年を経過しており」というのを取って「老朽化による大規模な改修も課題となっている」というのは、残すということですか。
委員	年数は関係ないと思います。
会長	本質的な部分ではないので、不要だということですね。
委員	アンケートの対象者を拡大することについてですが、山東地域以外の方が山東地域の実情を把握されているか疑問に思います。 それとアンケートの中に山東幼稚園の今後の在り方について A 案、B 案、C 案、D 案のように具体的な案を示した方が分かりやすいのではないのでしょうか。アンケートをもらった人からするとこの内容では検討ができない気がします。
会長	具体的にどうするのかというところですね。アンケートの内容は

事務局	現状幼稚園の存続が困難であり今後どのようなことを重視して検討するのかを聞く内容となっています。 方法として今後どういう拠点にしていきたいかというところを保護者に問うのであれば、そもそも最初に意見であった保護者に聞くのが有りか無しかというところも含めてまた考えていかなければいけないと思います。また、その保護者が市内全域なのか、未就園児の保護者なのかというところも含めてです。 事務局としては、方法を具体的にどうするかではなくて、どういう拠点としてここを活用できるかを、ニーズとして知りたいというところですね。 そうです。そのために検討委員会を立ち上げさせていただいています。アンケート中「問7」にありますように、今後どういうことを重視し検討すべきか保護者のニーズを把握したいと思っていますところでは。
会長	今、事務局から説明がありましたが他いかがでしょうか。あと、文言の修正など細かい部分もあればお願いします。 これまでの経過をまとめますと、まずアンケートのタイトルとして「山東幼稚園の今後の在り方」ではなく、「米原市の幼稚園の今後の在り方」についての市民アンケート調査であるということ。 それから表紙文言中「18年経過している」という情報は、本質にかかわるものではないので、削除するということ。 また、「問7」の部分で、今後維持が困難な状況にあるということを踏まえて、幼稚園を今後どうするのがよいのかニーズを把握するための設問であるということ、そしてそれを明確にするために山東地域だけではなく、米原市全域の未就園児そして就園している保護者にというところが、意見として今あります。
委員	先程私が対象を市内全域の未就園児にと申し上げたのは、これからお子さんを園に就園させようと思っている保護者の方が、より深く考えていただけるからという理由があります。 市内全域の就学前の児童にまで広げると対象者数が多くなり過ぎて、集計が事務的に難しくなるのではないかと思います。 またアンケートの内容で、未就園児向けのアンケートの問5の補足事項に幼稚園型認定こども園の説明も増やしていただけないかと

	思います。
会長	補足事項を増やせないかというところと、対象を未就園にした理由はこれからお子さんを園に就園させようと思っている保護者の具体的なニーズを図っていくということですが、就園している子どものニーズはいいということですか。
委員	できればいただきたいところですが、事務的に難しいのではないかと思います。
会長	集計として可能であるならばとった方がいいのではないかと思います。事務局どうでしょうか。
事務局	可能ですが、山東地域以外に住む方で既に園を利用いただいている家庭に、この件について関心を示していただくことは難しいかと思います。未就園児の保護者に聞く方向がよいのではと事務局では考えます。
会長	未就園児の保護者のニーズは大きいということ、山東地域の就園児の保護者はこの件に関して意識が高いと思うのでそこをしっかりと把握するということで、今いる子どもたちや、今保育を受けている子どもたちを大事にしていくという観点で、山東地域、そして未就園児については市内まで広げていくことで皆さんいかがでしょうか。 (意見なし) それで進めるということをお願いします。 アンケートの文言について他にいかがでしょうか。アンケートと一緒に送る資料4についてもお気づきの点がありましたらお願いします。
委員	資料4の2枚の写真に三島池から見える伊吹山が掲載されていますが、隣接する天狗の丘公園の写真を載せておかれる方がよいかと思います。

委員	資料４に山東地域各園の利用定員数を入れていただけたら、市民にとって分かりやすい一つの目安になるのではないかと思います。
会長	資料４の写真を差し替えるということと、資料中に山東地域各園の利用定員数を掲載するという御意見がありました。 それと私の意見ですが、「なお、山東幼稚園の今後の方針については、直ちにその方針により進めて行くものではありません」という所は、すごく大事な所だと思います。 このアンケート調査で余計な不安をあおるようなことになってはいけないと思います。特に在園されている子どもの保護者にこのアンケートによって、不安を与えることは避けなければなりません。 今の保育が、毎日の日々が急に変わるようなことはないという保護者が安心していただけるように文章を強調するなどして検討いただけたらと思います。
委員	資料４に子どもが遊んでいる様子を掲載することを希望します。
委員	アンケートの内容になりますが、仕事をしているかどうかという内容が主な感じなので、育児がどれぐらい負担になっているのかといったような回答項目もあるといいかと思います。 核家族で育児をするのが大変で、本当に悲鳴を上げている人が多くて、仕事をするしないにかかわらず、そういう人たちの受け皿として保育園は必要だと感じています。 中には預けたいがために仕事をするという人もいると思うので、育児の大変さやそういった回答項目もあればと思います。
会長	項目で聞くというところではなかなか難しいと思うので、「問８」で幼稚園の今後の在り方や、今やってほしいサービスなどの自由記載欄を設けることで様々な意見が書けると思うのですが、どうでしょうか。
委員	それでいいと思います。
会長	他に何か御意見はありますか。
委員	私の孫は保育園に通園していて、普段は４時半頃に帰ってきます

	が、状況により 6 時頃まで保育してもらえるので、息子の嫁もありがたく思っています。山東幼稚園も預かる時間が長くなれば、女性の方がパートだけでなく、フルで仕事する方も預けることができるので利用者の数も増えるのではないかと私は思います。
会長	このあたり「問 7」の項目にもございます。預かり保育の枠の拡大とか、あともう少し「問 8」で具体的に書いていただくという項目もありますので、これでかなり就学前の方の保護者の考えが描きだせるのではないかとこのところで皆さんと高めあったと思います。
事務局	本日いただいた御意見を踏まえて、アンケート等を修正させていただきます。なお、修正後に再度委員の皆様にご確認いただき、最終確認を得た後に、アンケート実施という形でよろしいでしょうか。 (意見なし)
会長	確認後また意見があった場合は、事務局に出していただくということをお願いします。あと、現地視察についてこれも検討していただいて、また御連絡いただくようお願いします。 それでは、他に御意見もないようですので、委員会次第の 4、その他について、事務局から御説明お願いいたします。 4 その他 (次回日程調整の方法、視察の日程調整の方法等を説明) 5 閉会 (副会長から閉会のあいさつ)